

あすなろ通信

No. **127**

2024.8.1発行

あすなろ保育園後援会

飯田市育良町3-15-2

TEL (0265)23-4656

ブルーベリー狩り



近所の加藤さんの畑にひまわり、かっぱ組が行って来ました。1ヶ月前にサクランボ狩りもさせていただいたので慣れた手つきで採って楽しんで出来ました。

あすなろ
は
今

つくし組	(0歳)	6名
たんぽぽ組	(1歳)	11名
ひまわり組	(2歳)	9名
かっぱ組	(3歳)	5名

まゆの 雑記帳

面白いー楽しい！が力に

子どもが何か見つけたとき、
じ〜っと見つめ、何だろう？と

不思議がり、興味関心を持ち、手を伸ばし触ってみます。触ったことで、変化したり音が鳴ったりすると、その面白さに気付き、もっとなやってみたくなって、繰り返したり大きく振ってみたりいろいろな発見をします。

そして、自分が満足するまでそのものと向き合い、その遊びを楽しみます。遊びは、その子が面白いと思うものはいくらでも変化させることができます。

そのときに感じる楽しさ、面白さ、喜びは、こどもたちの心を動かし、次への意欲へとつながります。

保育園時代に遊びや生活の中で、知って、自分で探求する経験の積み重ねは、小学校での学ぶ力に繋がってきます。

子ども達の周りには、面白さを知っている大人がたくさんいます。

それぞれの得意分野を発揮し楽しさを伝えていけたら、子どものパワーはあふれ出しそうです。

ひとり遊び

子ども達は、“もの”(遊具、生活用品)と関わりながら、手や足、体、頭で考え工夫しながらひとり遊びをしています。友達が遊ぶ様子を見て真似をすることもあります。“もの”と関わり、たくさんの面白い発見があります。その遊びは、これからの人生での大きな力になります。これからも、環境を作って一緒に楽しんで行きたいです。



“もの”との関わり方の第一歩。なめで、硬さ、大きさなどいろいろ確かめています。



チェーンを容器に入れる遊び。大きな穴に入れて、全部入るまでやってニッコリ。



下駄箱に入れるかな。空間を見つけ入っていました。



友達が入れようとしていた様子を見て私もベッポトルに入れようと挑戦中。



種類の違うコップを見つけて、重ねています。



おもちゃのバスと牛乳パックで作った大きさの違う車をつなげて後ろから押して「プー」



ブロック入るかな。入れたら保育士に見せてくれました。



パンツやズボンを入れてある箱からパンツを出していたら、足を上げて履いてみよう。



水の入ったバケツに入って立っていたのが、そのうち座ってみて。なぜかみんなやっていたかわいい姿です。



持っていたジョウロが落ちたらクルクル回るのに気付いて、自分で回して楽しんでいました。

頭にお椀を乗せて落とさないようにするにはどの位置かなと何度もチャレンジしていました。上手に頭に乘ったら歩いて、落ちたらまた乗せてを繰り返ししていました。



お皿を靴のようにしてすり足で感触を楽しんで歩いて、最後はジャンプしていました。



ちょうど長靴を履くのが楽しい時期に、ジョウロを長靴に見立てて履いて遊んでいました。

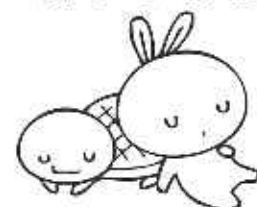


手すりの間に木の器を入れて転がることに気づいて遊んでいました。

コウヤマキの枝がザルのあもちやに刺さることに気付いていくつもさして遊んでいました。その後、シヨウゴの穴に落とすとスルツと入る感覚や一瞬にして自分の手元から消えて見えなくなる様子が楽しいようで夢中になって遊んでいました。



右手にブロック、左手に自分の靴を持って、靴を持つている腕をぐるぐる回していたら、その様子がちょうど鏡に映っていることに気付いて、自分の姿を見てニッコリ。



あすなるの予定

- 8月 7日 七夕まつり
- 9月 6日 秋まつり運動会
- 9月 14日 親子散歩、クラス懇談会
(かっぱ、ひまわり組)
- 10月 4日 山登り遠足
- 10月 19日 親子散歩、クラス懇談会
(たんぽぽ、つくし組)



◆子ども達がのびのびと育つよう応援して下さい◆ あすなる後援会にぜひご参加を!

- ◎より多くの人にあすなるのことを知らせ、理解者を増やします。
 - ◎より良い保育ができるよう職員、父母と一緒に、保育運動をすすめます。
- 年間(4月～翌年3月まで) 1口…3000円(何口でも) 通信費、活動費などに使います。
【振込み先】 飯田信用金庫切石支店 番 1520079
あすなる後援会 佐々木俊之

歳末市 12月1日(日)

今年から、バザーは行わず、あすなるOB関係者限定でフリーマーケット出店者募集。
1ブース500円。やりたい方、電話してください!



「ママ～」と言い続けながら箱の周りに洗濯バサミをひとつずつ付け、付け終わると「♪たんたんたんたんたんじょうび～」ってお祝い。



でんでんおしおし〜」と歌いながらゆっくり歩かせているのは自分で作ったカタツムリ。

ブロックの棒をサイズやバランスを考えながら黙々と自分の連絡帳入れの棚に敷き詰める。



カラー積み木を並べその上に一つずつブロックを並べる。全部、並べるとくっつけていました。



ブロックの周りに同じ色のブロックを挿し、ブロックが取れそうになると足で押さえながらはめる。全部はまると満足し、全部取っていました。



バケツの泥水に足を入れ指を動かすと親指が出てきて「ニョロ！」



お皿に砂を入れて自分で手形をとる。手形がとれると「足もー」と足形に挑戦。



室内遊具の梯子のところにバランスを取りながらカラー積み木を乗せて太鼓のようにしゃもじで叩く。



包丁とまな板を使って切った物をお皿に盛りました。



大きいブロックで道やトンネルを作ってバイクを通らせて、ガソリンスタンドやキラヤなどいろいろなお店も作ってみんなで作りたいものを作りました。



くもの巣を木の棒でくるくる取って、綿菓子。



バケツに水があり、足を入れて濡らしたあと砂場にジャンプ！足の裏に砂がたくさんつきました。



筒の中に泥水を入れてみたらなかなか出ないことに気付く。近くにあったシャベルを見つけて混ぜてみると、ちょっとずつ出ることを見発見！



木についていた蜜を木の棒でとり、おもちゃ棚にしばらくつけていました。



おしゃべり月あのね

- ◎ 休みの日に保育士に合ったことを話していて、名前を思い出せないとEちゃん(4歳3か月)「あの保育園に詳しい人」
- ◎ 薄い氷に霜柱がついているのを見てTちゃん(3歳11か月)「歯ブラシ」

- ◎ チューリップを見て保育士「いいにおいするかな？」S君(2歳10ヶ月)「レモン」
- ◎ 鳩の泣き声を聞いてT君(2歳3か月)「フクローさんだ！」
- ◎ 木の柵にくっついて動くミノムシを見てR君(3歳4か月)「虫が木をいっぱいもってる」



- ◎ こいのぼりを見てHちゃん(2歳11か月)「こいのぼりいるよ。いなかったのにね」保育士「そうだね」H「何してたのかなあ？」保育士「なにしてたかなあ？」H「ごはんたべとった」
- ◎ 雷の話をしているのを聞いてY君(3歳7か月)「かみなりくるって？」と聞いて来たので保育士「まだ、大丈夫だよ」Y「かみなりさん、ごはんたべとるの？」
- ◎ 水滴のついているクモの巣を見てMちゃん(2歳5か月)「氷みたい！！」



- ◎ 田んぼの水がオレンジ色になっているのを見てEちゃん(3歳2か月)「田んぼさん、早く病院行って、ばんそうこうはらなきゃー」
- ◎ 帽子が風に飛ばされて落ちるとO君(2歳8か月)「帽子が転んじゃったあ」
- ◎ O君(2歳8か月)「スピノサウルスに会いたい」と話していた時に空を飛ぶ飛行機を見て大きな声でO君「スピノサウルスが食べられちゃう〜」
- ◎ 飛行機の音がして保育士「どこかなあ？、見えないね」T君(2歳4か月)「目が悪いで見えんの」
- ◎ お米のはざかけの写真を見てY君(3歳9か月)「えのきだ！」



カレー粉のかで食欲アップ！！ ★カレー風味肉じゃが★

今年は7月なのでもう真夏日のような暑さで、大人も子どもも体力が奪われ、食欲も落ち気味ではないでしょうか？そんな時は、いつもの肉じゃがにカレー粉を加えたカレー風味肉じゃががおすすりめです。子どもも大好きなカレー味なので、園でも夏によく登場するメニューです。ぜひ、この夏作ってみてくださいね！

【材 料】 <分量5人分 大人2人+子ども3人>

豚肉	100g	じゃが芋(2個)	400g	炒め油	適宜	カレー粉	1g
玉ねぎ(1個)	200g	白滝	100g	しょう油	30g		
人参(1本)	150g	ささげ	50g	砂糖	15g		

- 【作り方】
1. 野菜、白滝は適当な大きさに切っておく。
 2. 肉はしょう油と砂糖につけておく。(味がしみ、柔らかく仕上がるのでお勤めです)
 3. 鍋を熱し、油をしき野菜を炒めていく。全体に油がまわったら、ひたひたの水を加え野菜を柔らかく煮る。
 4. 野菜に火が通ったら、肉、白滝を加えさらに煮る。
 5. 肉に火が通ったら、カレー粉を加えひと煮立ちさせれば出来上がり！！



溶連菌が増えています

健和会病院小児科 和田 浩

溶連菌が増えています。保育園ではおなじみの病気ですね。子どもの場合、溶連菌感染症というと、たいていは「咽頭炎」の形をとりますが、たまに皮膚について化膿して「とびひ」の原因になることもあります。

「劇症型溶連菌感染症」という病気も増えていることが報道され、心配されている方も多いと思います。これは血液や筋肉に溶連菌が入って手足の腫れ・痛み・発熱などが見られ、急激に悪化して命にかかわることもあるという非常に怖い病気ですが、主に高齢者の病気です。

「溶連菌咽頭炎」は、のどが痛くて熱が

出るけれど、咳は出ないという場合が多いです。細かい赤い発疹が出ることもよくあります。抗菌薬を飲めば、すぐに熱が下がり、飲み始めて1日以上たてば登園もOKになります。

しっかり治しておかないと、あとで「急性腎炎」「リウマチ熱」などのやっかいな合併症を起こす場合があるため、抗菌薬を長めに飲まないといけません。

前回、咳止めが品薄だと書きましたが、溶連菌に使う抗菌薬も品薄になっていて、いつ終わってしまうか、ひやひやしなから診療しています。

編集後記

◆先日、泊二日で山を登ってきました。岩場と鎖場の連続で楽しく満足でしたが、長時間の歩きにはかなり予定をオーバーしてしまいました。余裕を持った計画で想定内でしたがそれなりにショック。下山後の楽しみは温泉でのんびり。しかし入浴後、下半身が痛ダルクなり身体が重く歩くのが大変でした。今までには無かったこの疲れと時間超過に、歳による衰えを感じました。これからも山に行きたいので年齢を考慮したプランの立て方を考え直さなくては…。②

◆夜0時過ぎに子どもに起こされました。「誕生日おめでとう」って。こんな事してくれるなんて想像もしたことなくて、なんか温かくて嬉しくて、味わったことのない初めての感情をもらいました。③

◆やっとう梅雨が明けて夏本番。子ども達は、

キラキラのお日さまの下、夏しかできない楽しい遊びを創り出すのでしょうかね。大人だってエアコンの下ばかりに居ないぞー！！④

◆悩み、悲しみ、しっと、疲れ、負の感情でいっぱいでしたが、おむかえにきた時にちょっと話をしただけで、心が軽くなる自分がいました。ありがとう、あすなる。⑤

◆今年も夏がやってきました。大好きな曲聴いて、きれいな花火見て、暑さに負けずに楽しもう。⑥

